

ふきのとう

令和5年度 卒業証書授与式 9名の未来に幸あれ!

鳥海山を照らす日差しにも温かさを感じる季節となりました。今年度は暖冬で雪も少なく、一足早い春の訪れを感じる日が続いていましたが、卒業式当日は3年間の高校生活を惜しむかのように、なごり雪（吹雪に近いものがありました・・）となりました。

3月3日（日）新田隆治町長様を始め、多くのご来賓の皆様のご臨席のもと、令和5年度の卒業証書授与式を挙行了しました。真室川高校としては第75回・真室川校としては第9回目の卒業式となります。コロナウイルス感染症の影響により、校内外の活動において様々な制約があった3年間で、大変なことも多かったと思いますが、担任の青木先生を始め学年団や先生方の温かい指導のもと、保護者の方に支えられ、クラスの皆で助け合いながら卒業の日を迎えることが出来ました。真室川校での3年間で一段と成長し、心身ともに逞しくなった皆さんを頼もしく感じます。個人的な感想になりますが、卒業生の皆さんと一緒にいった修学旅行がとても印象に残っています。特に中尊寺で弁慶の顔出しパネルでのみんなの笑顔や、遠野ふるさと村でこたつに入りながら語り部の方の昔話を聞いているときの、ほっこりしたみんなの笑顔が今でも鮮明に思い出されます。

晴れやかな表情で真校を巣立っていった9名の未来に幸多からんことを心から祈っています。



吹奏楽部の演奏とともに卒業生が入場し、担任の青木先生の呼名に続いて、9名一人一人に卒業証書が手渡されました。



校長先生の式辞 生徒会長の送辞「先輩方の存在は不安を安心に、緊張を期待に変えてくれた」 前生徒会長の答辞。



最後に第二校歌（真室川高校校歌）を斉唱しました。教室では最後のホームルームが行われました。新たな世界への旅立ちです。

令和5年度同窓会入会式

3月2日(土)山田敏一同窓会会長を始め多数の同窓会役員の方々のご臨席のもと、令和5年度同窓会入会式が行われました。真室川高等学校及び真室川校の卒業生はこれまで7335名にのぼり、今年度は新たに9名の同窓生が仲間入りとなります。同窓会の皆様からは、歓迎の言葉と、真室川校の同窓生として自信と誇りを持って、自らの道を切り拓いてほしいとの話がありました。また、卒業生を代表して、土田珠李さんからは、「高校時代の9名のきずなを、同窓生としての大きなきずなとして、先輩方と一緒に地域を盛り上げ、同窓会の発展に寄与します」と、力強い宣誓がありました。



後輩から先輩へ贈る歌 & 生徒会企画 3年生 これまで ありがとう!

3月2日(土) 表彰式終了後に卒業生にこれまでの感謝を込めて、1,2年生と先生方で「365日の紙飛行機」の歌を贈りました。音楽選択者が中心となり、朝の時間やスキー授業に向かうバスの中で合唱の練習を行ってきました。代表生徒が「紙飛行機は、人生と同じで上手く飛ぶときと飛ばないときがあるけれど、仲間や家族と支え合いながらくじけずに頑張してほしい」と、エールを送った後に、生徒と職員で合唱し、最後は紙飛行機に3年生一人一人への感謝の気持ちを乗せて飛ばしました。また、在校生から卒業生に向けたメッセージ動画が上映され、会場は懐かしさと感動に包まれました。生徒会の皆さんありがとうございました。



これまでお世話になりました

このたびの人事異動により、学校技能員の半田隆浩さんがご転勤されることになりました。半田さんには施設設備の維持管理はもちろんのこと、常に生徒のことを考えながら真室川校のためにご尽力いただきました。

また、この『ふきのとう(ふきのとうJr.)』を担当させていただいた、副校長(私)も転勤することになりました。毎月、いかにして多くの皆様に魅力を伝えることができるかを考え、楽しみながら作成させていただきました。これまでありがとうございました。



新年度もよろしくお願いします!



真室川
校HPも
ご覧
下さい!

